



# 谷原小だより 臨時号

平成 25 年 9 月 18 日  
練馬区立谷原小学校  
校長 眞瀬 敦子

## 学力向上を図るための調査結果のお知らせ 校長 眞瀬 敦子

今年度の学力調査の結果をお知らせします。調査結果をもとに、各教科担当の教員で授業改善のためのプランを作成し実施をしていきます。以下は、授業改善推進プラン作成のもとになった学力調査の結果（概略）と課題、改善策です。

### 1 6年生 全国学力・学習状況調査 4月24日実施

#### (1) 国語

主として知識

観点	平均正答率	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
谷原小	63.7	54.2	44.8	58.6	61.5	62.8
東京都	64.8	48.2	46.0	56.1	62.9	64.7
全国	62.7	44.9	43.2	53.6	60.1	62.6

主として活用

観点	平均正答率	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
谷原小	49.1	35.9	62.8	43.2	47.7	72.9
東京都	52.1	42.5	67.0	46.0	50.6	66.7
全国	49.4	42.5	64.8	43.8	47.9	63.8

昨年度より谷原小では、書く力に重点を置き、研究を通して授業改善を進めてきました。このため、知識を問われる問題では、関心・意欲・態度、書く能力で良い結果を収めることができました。表には記していませんが、細かな意識調査の項目では、書くことを苦にしない児童が都や全国の数値を上回るなど、意識が育っていることが明らかになりました。

一方、国語に関しては知識に比べ活用する力に課題があることが明らかになりました。5つの項目で都と全国を上回ったものが1つでした。実際の問題を見ると、複数の内容を関連付けて考える力や2つの文を比較してそれぞれの趣旨を考える力などができていませんでした。今後の授業においては、上のような考える力をつけるため、発問の工夫や考えたことを伝え合う機会を増やしていきます。

#### (2) 算数

主として知識

観点	平均正答率	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解
谷原小	76.7	86.3	69.7
東京都	78.4	87.4	71.5
全国	77.2	86.2	70.6

主として活用

観点	平均正答率	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解
谷原小	65.2	55.7	77.1	81.3
東京都	60.8	49.6	77.7	79.0
全国	58.4	46.8	76.1	77.2

算数では、知識に関しては、残念ながら各観点で少しずつ正答率が下回りました。対策として、計算をはじめとした問題練習や解けなかった問題の解法の確認などにより既習事項の定着を図っていきます。

活用においては、算数少人数指導の成果が出ています。具体的には、グラフの1問を除き全ての問題で都と全国の数値を上回りました。特に考える力は、平素の授業で考えを発表し合う活動を取り入れていることもあり、素晴らしい成果となりました。今後も、より有効な少人数指導のあり方を工夫し、授業改善に努めていきます。

## 2 6年生 練馬区小学校学力調査及び生活・学習意識調査 6月5日実施

### (1) 国語

観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	国語全体
谷原小	75.0	70.1	75.2	65.9	68.7	69.8
練馬区	72.2	70.7	73.9	68.4	71.4	71.5

同じ6年生ということ、前回の調査(全国)から1ヶ月しか経っていないことから、似たような結果になりました。関心・意欲・態度と書く能力で練馬区平均を上回りました。これは、上でも述べましたが、昨年度からの研究を通じた授業改善の成果と言えます。他の観点については、全国の欄でも記したように、解けなかった問題を解けるようにする内容を授業で取り入れて指導します。

5つの観点の中で、特に良くなかったのが「言語～」です。実際答案でも、漢字を書く問題の出来が良くなかったです。日頃、学校で練習したりご家庭で宿題として書いたりしていますが、そのあり方を検討していきます。ご家庭でも、変わらぬご協力をお願いします。

### (2) 算数

観点	関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	算数全体
谷原小	65.2	58.9	71.9	72.0	69.3
練馬区	65.9	60.7	75.8	72.7	72.2

算数も国語同様、全国の結果と似たものになりました。残念ながら、4つの観点で練馬区の平均値を上回ることができませんでした。

誤答を見ると、整数のなかま分け、分数と小数、分数などの性質や計算に関する問題が多かったです。個別の答案を見ると、これらの問題について、ほとんどできている答案とそうでない(多くの誤りがある)ものに分かれています。また、正答数の分布を見ると、正規分布ではなく、2つの山があります。これらは強い相関があると考えます。谷原小としては、各学年で学んだ計算等の徹底を図るとともに、上の学年でのおさらいを行っていきます。また、机間巡視によりつまづきの早期発見とその対処、個別指導を今以上に行うなど、対策を講じていきます。

## 2 5年生 東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査結果 7月4日実施

### (1) 教科の内容

観点	関心・意欲・態度		思考・判断・表現 話す・聞く		技能 書く		知識・理解 言語		読む	
	谷原小	東京都	谷原小	東京都	谷原小	東京都	谷原小	東京都	谷原小	東京都
国語	98.9	95.5	85.2	81.2	70.9	70.5	72.5	68.8	63.4	55.9
社会	97.8	94.8	83.5	75.1	71.7	68.7	39.0	35.3		
算数	84.6	85.5	71.7	63.5	74.5	68.0	67.7	63.9		
理科	90.7	86.0	53.8	41.2	83.9	76.4	76.3	65.7		

非常によい結果でした。ほぼ全ての教科・観点で東京都を上回りました。残念ながら、算数の「関心・意欲・態度」の1観点のみ都の平均値を上回りませんでした。他の教科ともども、算数も授業改善（解法を伝え合う、計算の方法の確認など）や少人数指導を進めることで解決していきます。

幸いにして、5年生は良い結果が出ましたが、学校としては、児童にとって「良い授業」を目指していることは、学年によって変わりません。結果に一喜一憂することなく、児童の実態や成長を鑑み、授業改善を進めます。授業改善の詳細は、授業改善プランに記します（ホームページに載せます）。

### (2) 読み解く力に関する内容

	取り出す力		読み取る力		解決する力	
	谷原小	東京都	谷原小	東京都	谷原小	東京都
国語	90.1	84.1	29.7	28.3	54.9	58.5
社会	63.7	59.3	53.3	53.0	57.7	51.5
算数	73.1	68.3	43.4	38.1	23.1	25.9
理科	70.3	66.6	46.7	44.4	44.0	38.3

上と同じ調査を観点を変えて分析した結果です。多くの項目で都の平均値を上回りました。しかし、よく見ると解決する力に課題があります。そこで、国語と算数では、発問（問い）に対する回答の過程や回答に至った理由などを情報交換する時間を今以上に設定します。また、どう答えるのかという、答え方を身につけるため、演習の時間や答え合わせでの解説を重視していきます。

### (3) 意識調査（調査結果から顕著なもの）

#### ① 大切な存在ですか できごとを話しますか

一見、学習とは関係がないような質問ですが、児童の存在の根底になっている重要なものです。当然ながら、不安を抱えていては、学習どころではありません。

「大切な存在とは思わない」と答えた児童が2割、「出来事を話さない」と答えた児童が3割います。学校では、兄弟学年や各学級の活動を通して一人一人に「大切な存在」であることを伝えていきます。また、発表する機会を設けみんなで聞いたり、個人的に話を聞くように努めています。是非、ご家庭でも「〇〇さんがいて助かるわ」とか「～ができて良かったね」などと言葉をかけて励まして認め、お話を聞いてください。

#### ② 家庭の学習時間

1日当たり2時間以上行う児童が1割を超えています。同じく、1時間以上2時間未満の児童が約2割。ただし、30分未満の児童が約2割と家庭で学習する児童としない児童の差ががりつつあります。